



一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月の中核市移行を目指しています。中核市に関するいろいろな情報を紹介します。

## 第5回 中核市のメリット(2)

市民の皆さんへの間接的な影響として、まちづくり全体に関わる下記のようなメリットが挙げられます。

### 特色あるまちづくりの推進

▶市独自の基準が制定可能になるなど、より広い分野で地域の実情に合わせたまちづくりが進められるようになります。

例えば…

飲食店の  
衛生管理基準



屋外広告物の  
許可基準



保育所、特別養護老人ホームの  
設備・運営基準



小中学校の  
教職員研修



### 都市としてのイメージアップ

▶尾張地域の拠点都市として、市の存在感や知名度が上がり、観光面での誘客や企業誘致の活性化などの効果が期待できます。



【問】中核市移行推進課 ☎(85)7003

## 地域づくり協議会 活動だより 56

### ～起連区編～

起連区地域づくり協議会が発足して、今年度で7年目を迎えました。災害時に備えての防災訓練や、安心・安全な地域づくりを目指し、活動を続けています。

今年度は、起小学校のご協力により、従来から設置してあった消防器具庫の横に、新たに起連区の防災倉庫を設置しました。この防災倉庫には、地域で確保しておきたい備品を収納し、いざというときに起連区独自の判断で使用できる防災用品を収納するスペースを確保しました。今回は必要最低限の購入でしたが、順次、資機材を拡充していきます。連区の防災訓練などで地域住民の皆さんに、これらの資機材の使用方法を習熟してもらい、地域の防災意識を高めていきたいと思ひます。

5月には「木曾川ウォーキング大会」を開催しました。従来は子ども会の主催で行っていましたが、今回は、幼児から高齢者までの三世代が参加できるウォーキング大会として計画し、学校外活動推進委員会の主催、公民館魅力部・体育レクリエーション部の協賛により開催しました。爽やかな風が吹き、ウグイスの鳴き声が聞こえる河川敷遊歩道のウォーキングには、総勢220人が参加し、事故もなく盛況のうちに終わることができました。



◀新たに設置した  
防災倉庫

【問】市民協働課 ☎(28)8954